

学校図書館パソコン講習会

蒲郡市小中学校図書館部会

蒲郡市では、学校図書館にパソコンが整備され、学校図書館担当教員や学校図書館支援員、図書委員の児童・生徒が活用し、学校図書館運営に役立てています。

本年度、市内の全小中学校の図書館用ソフトが「情報ボックス Vol.7」に統一されたことを機に、日ごろから気になっていたパソコンに関する困り事や活用の仕方について講習会を開き、よりよい学校図書館運営に生かしていきたいと考えました。

図書館用ソフト「情報ボックス」の活用法 講師 教育システム 本間氏

○事前に

参加者は、市内全校の図書館担当教員と学校図書館支援員。コロナ感染予防対策として、それぞれ別の日に実施しました。

事前アンケートで、それぞれの立場での知りたい事や困り事を書いてもらい、集約したものを講師に伝え、当日の講習内容を考えていただきました。

○講習会では

リモートでの講習でした。

「情報ボックス」の操作画面をスクリーンに映し、実際に操作しながら貸し出し・返却といった基本的な操作から、蔵書数の統計調査、蔵書登録、読書記録の活用法など、周知されていなかった内容も紹介していただきました。



参加者の声

- ・本年度から図書の担当となり、進級処理からとても苦労しました。今までわからず手探りで処理してきた作業の方法だけでなく、新たな可能性を知ることができました。
- ・賞状印刷の機能やランキングを表示する機能は、今まで使ったことがなかったので、委員会などで活用してみたいと思いました。
- ・マニュアルや困ったときの操作方法を調べるサイト、サポートの電話番号などを紹介してもらって助かりました。
- ・今まで、学校図書館支援員に任せてしまっている部分が多かったが、連携を図って使っていけそうです。

○終わりに

子どもと本をつなぐためのスキルを得られた学びの多い講習会となりました。定期的な開催を要望する声が多かったので、担当教員が変わっても安心してパソコンを図書館運営に生かしていけるように計画したいと思います。また、図書館支援員からは、担当教員との効率的なパソコンでの業務分担を望む声があったので、検討し円滑な連携が行えるよう

にしていきたいと思います。